

1.
2.
3.
4.

みせ主
かつはよ
みにちみ
のもしょ
まとうし
えむにえ
にるてを
わわみみ
れれくた
ららにま
かののに
んいきよ

しゃのより
をりさて
とみもお
もかとし
にみむえ
さはもた
さきのま
げきにえ
め子みま

ぐらつた
みのかき
のいいあ
ひのらい
かりをも
りとばて
もよつた
とみかが
めしわい
てたしの
とまた十

もいま字
にてい架
つゆつに
どたねな
いかにい
てにまう
はこもる
いたりた
せえため
んんもうに

主をほめたたえよ。わたしは正しい者のつどい、および公会で、
心をつくして主に感謝する。詩篇 111:1
イエスは彼らに言われた。「…わたしの父は、あなたがたに天から
のまことのパンをお与えになります。というのは、神のパン
は、天から下って来て、世にいのちを与えるものだからです。」

5

主のみ言葉は ^{すす}進みゆくべき
^{みち}道を教え ^{おし}信仰により
^{つね}常に悪より ^{まも}われらを守らん。

6

主の肢体なる ^{したい}われら各々
^{れい}霊に打たれ ^うみ言葉の道
^{あゆ}歩みゆきなば ^{また}全きに向かわん。

7

平和の君に ^{きみ}よりていのちの
^うパンを受けし ^{すく}われら救いを
^{はな}たえず放さず ^め目覚めさせたまえ。

8

^{ふくいん}福音による ^ぎ義と戒めを
^{おし}つねに教う ^{みたま}御霊にならう
^{まことしもべ}真の僕 ^{あた}主よ与えたまえ。

9

^{みちち}御父よ子らの ^{うち}内なる人を
^{つよ}強めたまえ 主よなが愛と
^{さと}真をいよよ 悟らしめたまえ。

10

主よなが^ち血にて あがなわれたる
^{みたみ}この御民を ^ひなが愛の火に
^と融かし聖なる ^{せい}集いと^{つど}したまえ。